0.89	＋0.15	上限
0.89	－1.10	下限
0.94	－0.50	上限
1.00	－2.00	上限
1.00	－4.00	下限
1.11	－8.00	上限
1.11	－11.00	下限
1.23	－16.00	上限
1.40	－24.00	上限
1.50	－35.00	上限
1.70	－40.00	上限

別図第九　アパーチャ補正（第４条第４項第５号関係）

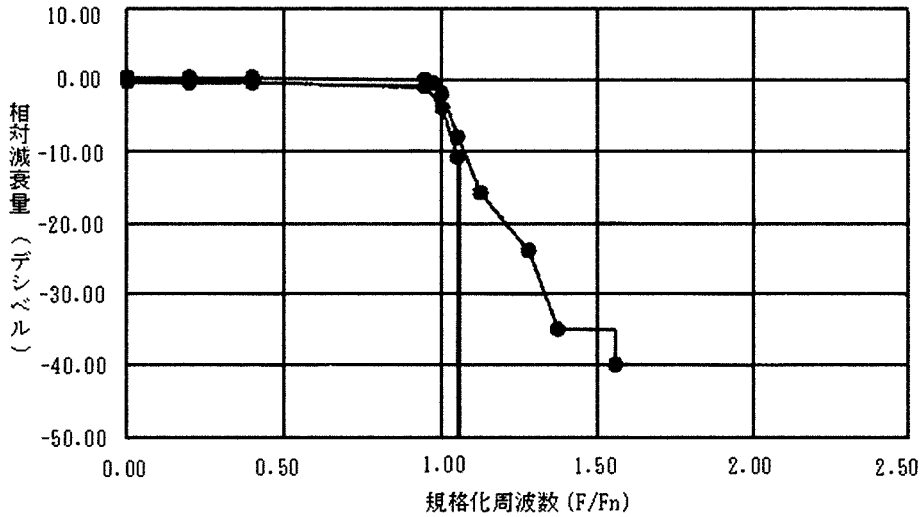
$$（アパーチャ補正）=\frac{X}{sinX}$$

$$X=\frac{\pi F}{2Fn}$$

Fn＝11.652［MHz］

注　πは円周率を、Ｆは周波数を、Fnはナイキスト周波数を表す。

別図第十　搬送波の変調波スペクトルの許容範囲（第４条第５項第４号関係）



注　Ｆは周波数を、Fnはナイキスト周波数を表す。

規格化周波数（Ｆ／Fn）	相対減衰量（dB）	規定の種類
0.0	0.25	上限
0.0	－0.25	下限
0.2	0.25	上限
0.2	－0.40	下限
0.4	0.25	上限
0.4	－0.40	下限
0.95	0.15	上限
0.95	－1.10	下限
0.97	－0.50	上限
1.0	－2.00	上限
1.0	－4.00	下限
1.05	－8.00	上限
1.05	－11.00	下限
1.38	－35.00	上限
1.13	－16.00	上限
1.28	－24.00	上限
1.56	－40.00	上限

別図第十一　アパーチャ補正（第４条第５項第５号関係）

$$（アパーチャ補正）=\frac{X}{sinX}$$

$$X=\frac{\pi F}{2Fn}$$

Fn＝16.29705［MHz］

注　πは円周率を、Ｆは周波数を、Fnはナイキスト周波数を表す。

○総務省令第九十五号

放送法（昭和二十五年法律第百三十二号）第百三十八条第一項の規定に基づき、有線一般放送の品質に関する技術基準を定める省令を次のように定める。

平成二十三年六月二十九日　　総務大臣　片山　善博

有線一般放送の品質に関する技術基準を定める省令

目次

第一章　総則（第一条・第二条）
第二章　有線放送設備の技術基準
第一節　通則（第三条―第八条）
第二節　デジタル有線テレビジョン放送方式による有線テレビジョン放送等を行う有線放送設備にかかる条件（第九条―第十二条）
第三節　標準デジタルテレビジョン放送方式による有線テレビジョン放送等を行う有線放送設備にかかる条件（第十四条―第十七条）
第四節　標準衛星デジタル放送方式又は広帯域伝送デジタル放送方式による有線テレビジョン放送等を行う有線放送設備にかかる条件（第十八条―第二十条）